

秋田県教育委員会と連動したPDCA

所長訪問 5月下旬～	○各校の課題を明らかにし、授業改善に向けた目標を具体的に設定するために、北教育事務所長・山本出張所長の学校訪問に、市教委も同行し、学校とともに指導を受けます。【各校1回】
要請訪問 (希望校へ)	◎各校の研修の在り方や授業改善の取組について、指導主事が訪問して指導助言します。市教委では、指導案検討会から共に授業研究に取り組んだり、事後研究会をコーディネートしたりすることも可能です。
市教委訪問 9月下旬～	◎各校の経営方針の実践と授業改善等の成果を確認するために、教育長・学校教育課長・参事・指導主事が訪問し、全職員の授業を参観し、助言します。【各校1回】

令和3年度 年間行事予定

学校教育課・教育研究所関連事業			
月	主催・所管事業	月	主催・所管事業
4月	・各交付式での情報交換・研修 ・教務・研究主任協議会(4/30)	7月	・算数・数学学力向上研修会(7/2) ・講師等研修会(7/7) ・学校図書支援員研修会(7/27)
5月	・いじめ問題対策連絡協議会(5/11) ・生徒指導アドバイザー等訪問(～6月) ・北教育事務所長訪問(～6月下旬) ・第1回Q-Uアンケート ・幼保小連携推進協議会(5/13) ・幼保小連携推進研修会(5/20) ・読書活動推進研修会(5/25) ・市初任研I(5/26) ・5歳児親子相談(～2月) ・幼児通級指導教室(～3月)	8月	・心の教室相談員情報交換会(8/3) ・市初任研II(8/18)
		9月	・市教委訪問(～11月下旬)
		11月	・能代っ子中学生ふるさと会議(11/22) ・能代市教育支援委員会(11/17)
		12月	・県学習状況調査(12/1・2) ・第2回Q-Uアンケート
		1月	・事務指導(小学校)
		2月	・教育研究所運営協議会(2/10) ・幼保小連携推進協議会(下旬) ・「はまなす広場」運営協議会(下旬)
6月	・特別支援教育担任等研修会(中旬)	3月	・市社会科副読本(小・中)の改訂
通年	・適応指導教室「はまなす広場」 ・教育相談「風の子電話」(電話相談・面談) ・不登校保護者会(月1回)	毎週(月)～(金)	9:00～15:00
		毎週(月)～(金)	8:30～16:30
		第3木曜	19:00～21:00

教育連携 ◆東京都豊島区 ◆北海道白老町

*開催期日は変更になる場合があります。

能代市教育委員会

TEL 0185-73-5178

FAX 0185-73-6459

〒018-3192 能代市二ツ井町字上台1-1

令和3年度

能代市の学校教育

学び合う 感謝と思いやりにあふれる



わのまち 能代



学校教育の基本方針

豊かな人間性を育む学校教育の推進

四 幅広い識見と 実践的指導力を培う 教職員の研修	三 基礎学力の向上を図る 学習指導	二 心豊かで、 たくましい子どもを 育てる指導	一 主体的で、創意ある 教育活動の推進	◆学校教育の重点◆
------------------------------------	-------------------------	----------------------------------	---------------------------	-----------

能代市教育委員会

学校教育の重点

1 主体的で、創意ある教育活動の推進

重点	実践事項
(1) ふるさと教育・キャリア教育の趣旨を生かした教育活動の推進	①郷土の自然・歴史や伝統・文化・産業等を生かした教育課程の編成 ②将来の社会的・職業的自立を念頭においた、全体計画や年間計画の工夫・改善
(2) 地域と学校が一体となる学校運営協議会（コミュニティ・スクール）制度の構築	①学校・家庭・地域の連携・協働による、子どもたちの成長を支える活動の推進 ②小・中の系統性を踏まえた、地域全体で子どもを育てる体制づくり

2 心豊かでたくましい子どもを育てる指導

重点	実践事項
(1) 自己実現を支える生徒指導	①不登校・いじめ等の未然防止、早期発見、即時対応の徹底 ②共感的な人間関係を育む学級経営の充実 ③校内体制の機能化（組織的かつ迅速な対応）
(2) 豊かな心と健やかな体の育成	①教育活動全体を通じて行う、組織的で一貫した道徳教育の推進 ②自ら考えて行動し、粘り強く取り組む態度を育てる体験活動の充実 ③健康的な生活習慣の定着や体力向上を図る、継続的な指導の充実

3 基礎学力の向上を図る学習指導

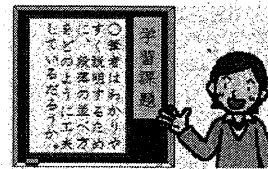
重点	実践事項
(1) 「秋田の探究型授業」を基軸とした授業づくり	①秋田の探究型授業の基本プロセスを機能させた授業づくりの充実 ②思考を広げ深められる、言語活動の効果的な位置付け ③思考・表現ツールとしてのICT機器の活用 ④諸調査の結果の分析による、指導方法の工夫改善

4 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修

重点	実践事項
(1) 学校を活性化させるための校内研修	①教科・学年の枠を超えた研究の充実 ②外部指導者の活用による客観的な検証機会の充実
(2) 今日的な教育課題に対応する市教委研修	①学校のニーズに応じた学校訪問による、学校組織活性化研修支援 ②教師一人一人のキャリアステージに応じた資質向上研修の充実

R3 能代市の授業づくり【本年度の重点】

学習の見通しをもつ



自分の考えをもつ



集団（ペアやグループ）で話し合う



学習内容や方法を振り返る



【「秋田の探究型授業」の基本プロセス】

学習の見通しをもたせる授業展開の工夫

- ◇学習の見通しをもたせるために、導入で本時の授業の流れや学びのゴールを示す。
- ◇課題を解決（めあてを達成）するために、既習事項を生かしたり、解決方法を工夫したりしながら、主体的な学習活動を設定する。

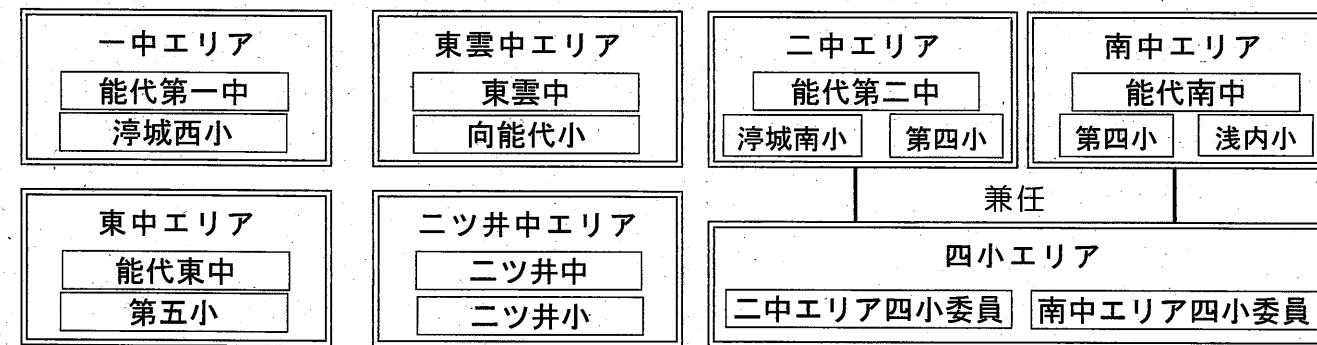
学び合いを充実させる手立ての工夫

- ◇机間指導により学習状況を把握し、学びの深まりにつながる意見を意図的に取り上げるなど、学び合いをコーディネートする。
- ◇児童生徒同士による対話、学習リーダーを生かした小集団による学び等、指導の目的に応じた学習形態を設定する。
- ◇課題解決場面等における思考・表現ツールとしてICT機器の活用を工夫する。

R3 能代市の特色ある取組

1 地域と学校が一体となる「コミュニティ・スクール」

※中学校区を単位とし、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校づくり」への転換。今年度より各エリアに地域学校協働活動推進員を配置。



2 「自立」に向けた系統的な特別支援教育

能代市特別支援教育統括コーディネーター・能代市特別支援教育アドバイザー
5歳児親子相談から、幼児通級指導教室、特別支援教室等の運用状況を把握し、自立に必要な指導方法や支援の在り方等について、教員や指導員・支援員に助言する。

就学前

小学校

中学校

自立

- ◆5歳児親子相談
※発達検査を促す。

- ◆幼児通級指導教室（すてっぷ）
※入学前に小集団で指導する。

- ◆特別支援教室（ステップ）
※小集団での授業を通して小学校生活への適応を図る。
- ◆特別支援教育指導員・特別支援教育支援員
※支援を必要とする児童生徒への学習支援及び生活支援をする。
- ◆通級指導教室（県）